

2018 年度 電気化学会北陸支部春季(富山)大会

主催 電気化学会北陸支部

日程: 5月31日(木) ~ 6月1日(金)

場所: いこいの村 磯波風 (〒939-2638 富山県富山市婦中町細谷 1-2)

(TEL: 076-469-5770 URL: <http://www.isopp.co.jp/ikoi/>)

日本曹達(株)高岡工場 (〒933-8507 富山県高岡市向野本町 300)

(TEL: 0766-26-0206 URL: <http://www.nippon-soda.co.jp/index.html>)

第1日(5月31日)

16:00 ~ 受付

17:00 ~ 18:00 個別ディスカッション

18:00 ~ 19:45 情報交換会

20:30 ~ 22:00 シンポジウム第1部 (若手の会)

1. 「電気化学—超高真空複合装置を用いた固液界面の解析」

富山県立大学 工学部 環境・社会基盤工学科 准教授 脇坂 暢 先生

第2日(6月1日)

9:00 ~ シンポジウム第2部 (特別講演会)

1. 「亜鉛空気電池を始めとする二次電池の研究動向について」

東京工業大学 物質理工学院 教授 荒井 創 先生

2. 「分光電気化学 - 光ファイバーセンサの開発」

富山大学大学院 理工学研究部 (理学) 教授 倉光 英樹 先生

3. 「富山大学の設備共同利用の促進 —設備サポートセンター整備事業—」

富山大学研究推進機構 准教授 小野 恭史 先生

12:00 ~ 13:00 幹事会 (幹事のみ)

13:20 ~ 14:00 バス移動

14:00 ~ 16:00 工場見学 日本曹達(株)高岡工場

「当日は安全に配慮した靴でご参加下さい。」

16:15 ~ 高岡駅を經由し、新高岡駅にて解散予定

◎参加費: 一般会員 15,000 円、学生会員 8,000 円 (原則、相部屋でお願い致します。)

◎参加申込: ①氏名、②所属・役職、③連絡先 (住所, TEL, E-mail) を添えて

下記まで E-mail でお申し込み下さい。 **申込締切: 5月16日(水)**

◎申込・問合せ先: 富山大学 水素同位体科学研究センター 萩原 英久

(TEL: 076-445-6932 E-mail: hhagi@ctg.u-toyama.ac.jp)

【送迎バスについて】

1 日目は、富山駅からいこいの村 磯波風まで送迎バスが利用できます。富山駅前 16:20 発(予定)

※自家用車は、いこいの村 磯波風の駐車場が利用可能です。

【参考列車時刻】

新潟方面から 新潟駅 13:05 発 (特急しらゆき 6 号 上越妙高行) → 上越妙高駅 15:05 着

上越妙高駅 15:17 発 (新幹線はくたか 565 号 金沢行) → 富山駅 15:57 着

福井方面から 福井駅 14:38 発 (特急サンダーバード 23 号 金沢行) → 金沢駅 15:26 着

金沢駅 15:39 発 (新幹線つるぎ 718 号 富山行) → 富山駅 16:02 着

平成 30 年 6 月 6 日
電気化学会北陸支部

「若手の講演会」 (参加 20 名)

日時 : 5 月 31 日 (木) 20 : 30 ~ 23 : 00

場所 : いこいの村 磯波風 (〒939-2638 富山県富山市婦中町細谷 1 - 2)

講演題目 : 電気化学—超高真空複合装置を用いた固液界面の解析

講演者 : 脇坂 暢 先生 (富山県立大学)

北陸支部恒例企画である若手の会 (わかってんのかい) を開催した。若手研究者として、富山県立大学 工学部 環境・社会基盤工学科の脇坂暢先生より「電気化学—超高真空複合装置を用いた固液界面の解析」のタイトルでご講演があり、参加者との議論および意見交換があった。超真空の定義やその必要性について説明があり、Pt 表面の酸化皮膜や OH の存在について電流密度や XPS データなどを用いて説明して頂いた。真空中で Pt 基板上的酸素と OH、水の存在挙動に関する内容は非常に興味深い内容であった。表面上の電子移動の確認や研究成果の活用に関する必要性など、説明途中に活発な議論もできており、非常に有意義な講演会となった。これからも、若い先生方、また「若い」と思っておられる大先生方に、より多くご参加頂き、この学術交流会を盛り上げるとともに、若手研究者の育成に繋げていきたい。



特別講演会 (参加 20 名)

日時 : 6 月 1 日 (金) 9 : 00 ~ 12 : 00

場所 : いこいの村 磯波風 (〒939-2638 富山県富山市婦中町細谷 1 - 2)

1. 「亜鉛空気電池を始めとする二次電池の研究動向について」
東京工業大学 物質理工学院 教授 荒井 創 先生
2. 「分光電気化学 - 光ファイバーセンサの開発」
富山大学大学院 理工学研究部 (理学) 教授 倉光 英樹 先生
3. 「富山大学の設備共同利用の促進 —設備サポートセンター整備事業—」
富山大学研究推進機構 准教授 小野 恭史 先生

最初の講演は、東京工業大学の荒井創先生より「亜鉛空気電池を始めとする二次電池の研究動向について」のタイトルでご講演が行われた後、議論および意見交換があった。現在の様々な電池がもつ課題について説明があり、高エネルギー密度のリチウムイオン電池がもつ低コスト化や安全性などの課題解決に向けて、全固体電池、ナトリウムイオン電池、リチウム硫黄電池、金属空気電池などの紹介があり、それぞれの有効性についてご講演された。そして引き続き2件目講演は、富山大学の倉光英樹先生より「分光電気化学 - 光ファイバーセンサの開発」のタイトルでご講演があった。最初に、環境化学科の組織などを紹介した後、富山県やバングラデシュの環境についてご紹介があった。また磁性マイクロ粒子の流動性物質への担持法、分光電気化学、光ファイバーセンサの開発についてご講演された。3件目の講演は、富山大学の小野恭史先生より「富山大学の設備共同利用の促進 - 設備サポートセンター整備事業 -」のタイトルでご講演があった。最初に、設備サポートセンター整備事業の主な内容についてご紹介された後、文部科学省が求める設備の整備・運用に関する内容のご紹介や学士によるスーパーユーザのご紹介など、普段聞けない内容が多く、大変大変興味深い講演会となった。



企業見学会 (参加 18 名)

日時：6月1日(金) 14:00~16:00

場所：日本曹達(株) 高岡工場 (〒933-8507 富山県高岡市向野本町300)

会社の概要と事業内容・製造品目、研究開発、RC活動などのご紹介があった。その後、巨大な塩山や電解槽などの現場見学もあり、製品の安定的な供給を実現する生産体制を整備していることが印象的であった。



以上

電気化学会北陸支部 幹事会議事録

日時：平成30年6月1日(金)12:00～13:00

場所：いこいの村 磯波風(〒939-2638 富山県富山市婦中町細谷1-2)

出席者：(支部長)米沢、(顧問)梅田、篠原、(幹事)八木、村田、鈴木、金子、野田、山口、萩原、井上、金(以上、敬称略)

議題・報告

(1) 本会より支部関連事項の報告

米沢支部長より、支部関連事項について以下のように報告がなされた。

- ・本会の方で支部として予定している活動(春季大会、秋季大会、東海支部との合同シンポジウム)が認められた。
- ・本会の方から、事務局の現状報告と事務局に負担を出来るだけ掛けないようご配慮をお願いするご連絡があり、支部内のご理解とご協力をお願いした。
- ・本会の連結決算が公益目的事業においても、平成28、29年度と2年連続の黒字になっており、益事業で黒字を3年間続けることは許されておらず、本年度も黒字になりますと、公益法人認定取り消しの可能性もあることから、支部として本年度、大きな黒字を出さないようご協力のお願いがあった。

(2) 常議員と幹事の交替、常議員の入会について

- ・日本曹達(株)高岡工場の代表者と幹事の交代、二本木工場の幹事の交代についてご報告があり、高岡工場の金子様と二本木工場の村田様からご挨拶をいただいた。
- ・北酸(株)山口様が新しく常議員1口として入会したことを報告した。

(3) 東海支部・北陸支部合同シンポジウムについて

- ・8月27日～28日に開催する「電気化学会東海支部・北陸支部合同シンポジウム」について、大会会告内容をもとにして、説明があった。場所は戸倉上山田温泉 ホテル圓山荘(長野県千曲市上山田温泉 2丁目9番地6)で行うことと、参加申込と発表要旨の提出期間が7月4日～8月1日になっていること、Googleフォーム(<https://goo.gl/forms/fshh8lWD1BX8XDGj2>)にて申込が可能であることについて説明があった。
- ・プログラム内容としては、基調講演、招待講演、一般口頭講演、ポスターセッションとなっており、北陸支部から基調講演1件、招待講演4件を決める必要があることで、長岡技術大学の梅田先生から基調講演の内諾を頂いた。残りの招待講演については、周辺の先生や若手研究者、外部の適任者など、ご推薦のお願いをした。また、学生によるポスターセッションの場合、北陸支部だけで20件ほど申込が必要であり、各研究室の学生さんの参加を要請した。

(4) 平成30年度支部秋季大会について

- ・金沢の全国秋季大会の一つのセッションとして北陸支部の秋季大会を開催することを試みたが、大会参加費や大会表彰など、本会との異なるシステムから生じる混乱さの理由で、本会とは切離して、場所だけ金沢大学で行い、受付やプログラム実施などは従来と同じく支部で行うことの説明があった。
- ・プログラム内容については、東海支部との合同シンポジウムで発表した北陸支部のポスター発表からピックアップして、支部の秋季大会で招待講演として発表を行うなどの形式で実施すること

を提案し、了承された。

- ・ECS からの補助金による講演要旨集の作成の件、支部の秋季大会での優秀賞などの審査方法については今後の検討事項とした。

(5) その他

①支部大会の新潟地区担当ローテーションについて

2019年秋季大会は新潟大学で、2021年春季大会は長岡技大で、2023年秋季大会は長岡技大の順で実施するとの報告があった。

②平成 31、32 年度北陸支部 支部長選出について

過去の選出の仕方を確認し、秋季大会までには内諾を得られるように検討することにした。

③北陸支部の新幹事(富山県立大学の脇坂先生)推薦の件

富山県立大学の脇坂先生を北陸支部の新幹事としての推薦があり、了承された。

以上